

Ⅱ部 ベンチャー・ビジネス実務講座

(短期集中、1ヶ月7回、

土曜日午後1時～5時、日曜日午前10時～午後1時、午後3時～6時)

- ① 7月6日(日)・ベンチャー・ビジネス入門、ケース紹介 比嘉 功
(マリア・キャピタル・代表)
・沖縄ベンチャー・ビジネスの実例と可能性 吉川 博也
(沖大・教授)

<ベンチャー・ビジネスの人的資源と管理>

- ② 7月12日(土)・地域産業の危機とベンチャー・ビジネスによる再生 川喜多 喬
(法政大学・教授)
13日(日)・ベンチャー・ビジネスの競争戦略と人的資源管理 “
・ベンチャー・ビジネスと組織、人材育成 “

<ベンチャー・ビジネスの支援体制>

- ③ 7月19日(土)・ベンチャー・ビジネス国際比較論 岡本 義行
-イタリア、シリコンバレー、日本- (法政大学・教授)
20日(日)・ベンチャー・ビジネスの支援論 “
④ 7月26日(土)・ベンチャー・キャピタルの立場から 比嘉 功
(マリア・キャピタル・代表)
27日(日)・事業計画書(ビジネスプラン)の作り方 吉川 博也
・KJ法によるグループディスカッション とまとめ (沖大・教授)
テーマ「私とベンチャー・ビジネス」「沖縄とベンチャー・ビジネス」



狩俣学長から修了証書を授与されるベンチャー・ビジネス講座の修了生—沖繩大学

沖繩タイムス
'97.4.12
「経済面」

沖大ベンチャー講座修了式

沖繩大学(狩俣真彦学長)が一九九六年度公開講座として実施した「ベンチャー・ビジネス講座」の修了式が十一日同大学で行われ、修了生十九人に修了証書が授

与された。併せて受講生による起業レポートの授賞式も行われた。

同講座は主に社会人を対象に前年度初めて開設。県内のベンチャー・ビジネス(VB)促進を目的に九六年度は「沖縄交易型産業」をテーマに、VBの基礎的

な知識やノウハウを講義した。また受講者の優秀なビジネスプランに賞金を与え、フィードバックをタダで(実行可能性調査)を支援することが特徴で、今回は入賞該当者はなかったが、準入賞一人と佳作一人が選ばれ、準入賞に二十万円、佳作に十万円の賞金

が贈られた。狩俣学長は修了生に対し「きょうは、みなさんが夢の実現に向かう出発式。起業家として成功するよう期待している」とあいさつ。また、ベンチャー・キャピタリストの比嘉功・マリアキャピタル社長が「ベンチャー・ビジネスの視点」と題して講演した。なお、同講座は九七年度は「沖縄のパイオと起業」をテーマに五月から開講する。

起業レポート受賞者は次の通り。
準入賞・磯間修さん(オックス)、「インターネットにおけるブックメーカー情報提供会社」、豊里勝一さん(ミリオン産業)、「食品製造物の飼料資源化事業」
▽佳作・野原正一さん(フールド企画)、「ビッグタイムリゾート玉城の展開に向けて」